

【佐鳴湖流域の土地利用の変化】

1938年（昭和13年）～1957年（昭和32年）は、農地（田・畑・果樹園）利用が約50%、市街地利用が約20%程度であった。

1957年（昭和32年）以降は、農地が減少、市街地が増加し、急激な都市化が見られ、現在では約70%を市街地が占めている。

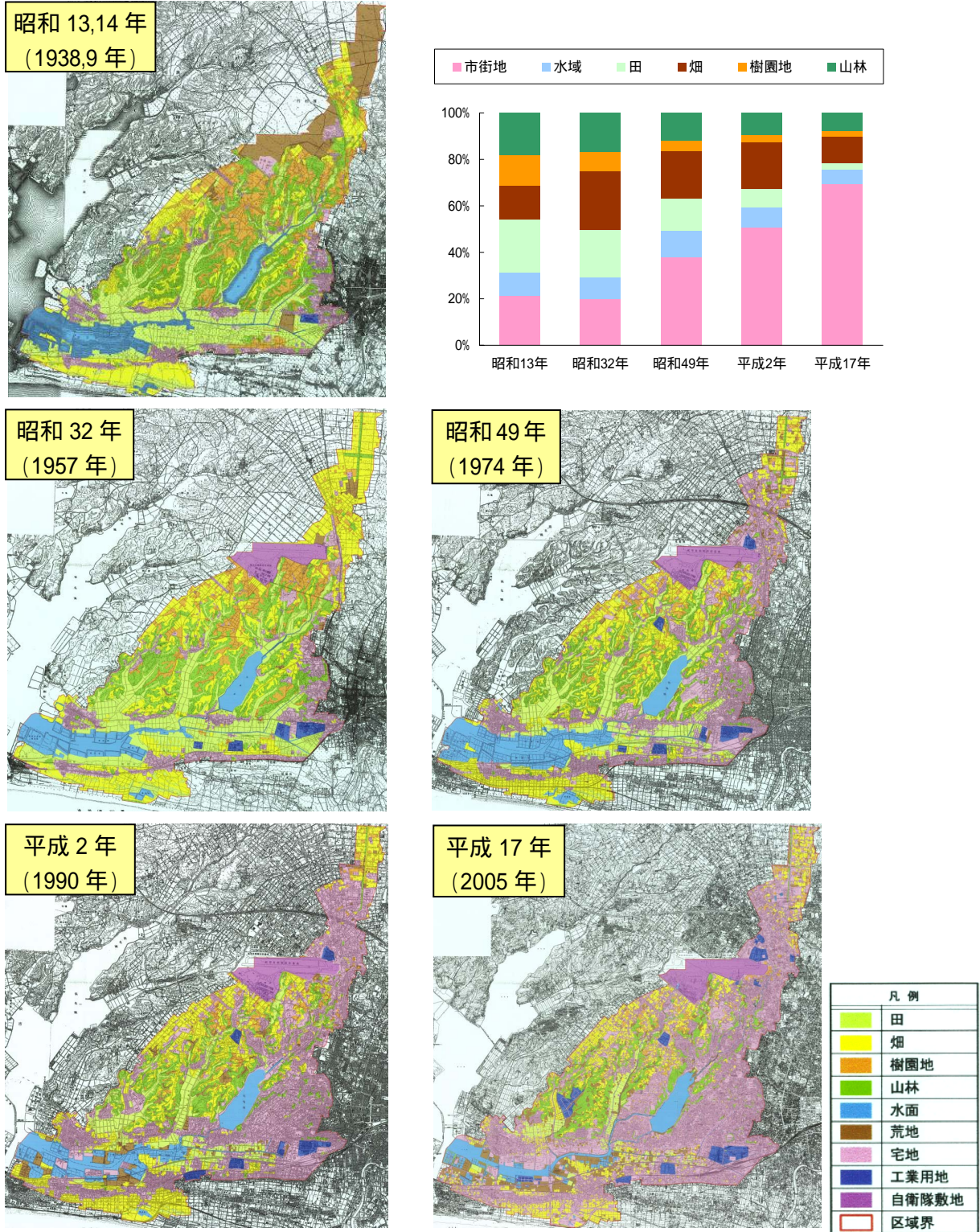


図1：佐鳴湖流域の土地利用の変化